

第6章 7つのナビゲーション

※ 参考資料1参照

これまでの主な取組

 <p>低炭素で活力ある産業社会づくり</p> <p>【県内企業の対策促進・支援の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クロスファンクションチームによる見える化支援 ・省エネナビゲーターによる省エネ診断 ・埼玉版グリーン・ニューディール推進・事業者支援事業 ・環境みらい資金による低利融資(▲2千t) ・クレジット創出のための中小事業者支援 ・企業向け研究開発(中小規模施設用BEMS) ・農業向け省エネ技術の研究開発 ・新規企業の地球温暖化対策の要請 <p>【大規模事業者への対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標設定型排出量取引制度の推進(再掲) ・地球温暖化対策計画制度の推進 ・下水汚泥の高温焼却化(▲6万t(対H17)) 	 <p>低炭素型ビジネススタイルへの転換</p> <p>【業務・オフィススタイルの見直し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「夜エコ・朝活」協力店の普及拡大(500店) ・県庁ITの省エネの率先推進 <p>【建築物・設備の低炭素化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築物環境配慮制度の普及拡大(▲2割) ・県有施設の省エネ改修(▲0.5t/年) ・県有施設のESCO事業(▲2.6t/年) ・省エネナビゲーターによる省エネ診断(再掲) ・公共施設の省エネ設備の設置支援 <p>【運輸・物流の低炭素化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動車地球温暖化対策計画制度の推進 ・EV・PHVの普及啓発の推進 ・EV・PHVタウン構想の取組 	 <p>低炭素型ライフスタイルへの転換</p> <p>【ライフスタイルの見直し】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライフスタイルキャンペーンの推進 ・家電製品省エネ情報提供制度の普及拡大 ・分譲マンション環境性能表示制度 ・「夜エコ・朝活」協力店の普及拡大(再掲) ・「マ体トル運動協力店」の普及拡大(393店) <p>【CO₂排出量の「見える化」と削減行動の促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコライフDAY(一日環境家計簿)の普及促進 ・家庭の電気ダイエットの推進 ・地域エコマネー導入促進事業 ・地産地消の推進 ・県グリーン電力証書購入(H21～:13千kWh分) 	 <p>低炭素で地球にやさしいエネルギー社会への転換</p> <p>【太陽エネルギーの導入促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築物環境配慮制度での太陽光導入要請 ・住宅用太陽光発電補助金 →▲2.6万t-CO₂/年(H21～23年度分) ・県による太陽光発電の率先導入 →▲1.7千t/年:H23末 ・市民共同発電補助金→▲8t/年:H23末 <p>【多様なエネルギー源の活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木質バイオマス施設の整備:6施設(H21～) ・高効率ごみ発電施設の導入促進:5施設 →▲3.4万t-CO₂/年の見込(今後稼働)
 <p>低炭素で潤いのある田園都市づくり</p> <p>【低炭素型まちづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・埼玉エコタウンの推進:スマート街区整備 ・ヒートアイランド対策の推進 ・「環境みらい都市」認定(10市:街路灯LED化) <p>【みどりと川の再生】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な緑地指定、公有地化19ha(H21～24) ・緑のトラスト保全地の取得、保全・管理 ・民間施設の屋上・壁面緑化 ・県営公園の緑地整備:55ha整備(H21～23) ・県立高校の緑化の推進 ・川のまるごと再生プロジェクトの推進 ・川の再生県民運動の推進 	 <p>豊かな県土を育む森林の整備・保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林整備の加速化と林業の再生 ・低コスト造林技術の確立・普及 ・森林管理道の整備 ・水源地域の森林の再生 ・里山、平地林の再生 →1000ha整備(H20～23) ・総合⇒森林整備によるCO₂吸収量 :17,533t/年(H20～23) 	 <p>低炭素社会への環境教育の推進</p> <p>【児童・生徒への環境教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境学習応援隊の派遣:受講16,917名 ・地球にいいことグリーンチャレンジシートの配布 <p>【環境学習への地域展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こどもエコクラブ活動の促進 ・環境アドバイザーの派遣:受講31,906名 ・環境アシスタントの派遣:受講20,073名 ・環境科学国際センター展示館の活用 <p>【国際協力の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国江蘇省の汚染底泥の無害化等 ・中国、韓国、メキシコ大学等と共同研究 	 <p>地球温暖化への適応策等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庁内推進委員会に適応策の専門部会を設置 ⇒農林部と適応策を検討するためのモデル検討 ・気候変動適応社会を目指す地域適応フォーラムへの参加(環境省委託研究) ⇒マニュアル策定等に協力 ・九都県市首脳会議 温暖化対策特別部会で調査研究(関東地方環境事務所とも協力)